

八戸酒造

八学大男女サッカー部

ウエアスポンサー契約

八戸

締結式を行った。同酒造の代表銘柄「陸奥八仙」のロゴが正面に大きくデザインされた男女ウエアがお披露目された。

(山谷佳澄)

八戸市の八戸酒造と八戸学院大学男女サッカー部はウエアスポンサー契約を締結し8月30日、同酒造で



ウエアを着て記念写真に納まる出席者ら。前列中央が駒井専務、その左が若本監督、右が畑中監督

八仙ロゴ入り「一緒に地元盛り上げる」

式には八戸酒造の駒井秀介専務、同大男子サッカー部の若本寿生監督、同大女子サッカー部の畑中孝太監督、3、4年の部員らが出席。駒井専務と若本、畑中両監督が契約書に署名した。駒井専務は「1775年の創業以来、代々地域の皆さまにお世話になったことへの恩返しのお気持ち。一緒に地元を盛り上げたい」と語った。若本監督は「気を引き締めて結果を出したい」、畑中監督は「八戸のアピールを、ロゴマークとともにできればと思っています」と話した。ウエアは、同大男女サッカー部が試合前や移動時に着用する。男子用が紺色、女子用が白色で、男子サッカー部スタッフ用が黒、同大女子スタッフ用が緑色。同大男女サッカー部は同酒造を含め、18社とウエアスポンサー契約を結んでいる。締結式の後、駒井専務の案内で出席者らが酒蔵を見学した。駒井専務は学生に対し「昔前は、日本酒は酔うためのお酒というイメージがあったが、今風の日本酒の飲み方や魅力を伝えてほしい。八仙のロゴをつけて、発信していただけたら」と語った。